

2019年12月23日

**2020年に向け、壁面を活用した駅構内サインの導入や、  
地域の特色を生かした装飾を施すなど、駅の受け入れ環境を整備します！**  
～今回の整備をレガシーとして、わかりやすく・快適な駅づくりに生かします～

**東武鉄道株式会社**

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では東武スカイツリーライン 北越谷駅、東上線 和光市駅・朝霞駅・川越駅・鶴ヶ島駅において、壁面を活用した駅構内サインを導入するとともに、バリアフリー設備を増強するなど、駅機能の整備・向上を図るほか、駅の内装に地域の特色を生かしたデザインを施し、地域とつながる駅整備を実施します。また今回の整備をレガシーとし、今後の快適な駅づくりに生かしてまいります。

これは2020年にインバウンドを含め多くのお客さまが利用することが想定される駅を、よりわかりやすく快適にご利用いただくために実施するものです。駅構内では、通常の案内サインに加え、壁面を活用して大きく表示することや、UD（ユニバーサルデザイン）フォントを採用することで、改札上の駅名、エレベーター、ホーム、トイレなどの案内サインの視認性を高めるほか、階段の手すりを二段手すりに変更し多様なご利用シーンに配慮するなどバリアフリー設備も増強します。

また、地域の顔としてこれらの駅の内装を中心に地域の特色を生かしたデザインを施すことで、駅と地域をつなげ、これまで以上に親しみを感じていただけることも目指します。特に朝霞駅では、射撃競技の会場が近隣にあることから射撃競技に関する装飾を施すなど、駅から地域の特色を盛り上げます。

当社では、2020年度以降も駅の大規模改修工事などと合わせて整備を推進し、快適な駅づくりに生かしてまいります。

詳細は別紙のとおりです。



△壁面を活用した北越谷駅改札上駅名サイン（イメージ）



△射撃に関する装飾をした「朝霞駅」の演出（イメージ）

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター TEL03-5962-0102

## 2020年に向けた駅の受け入れ環境整備の概要について

### 1 整備駅 2019年度実施駅

東武スカイツリーライン 北越谷駅

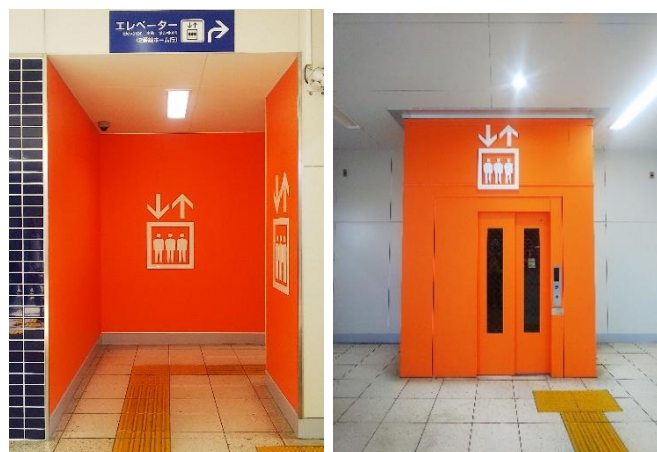
東上線

和光市駅、朝霞駅、川越駅、鶴ヶ島駅

### 2 壁面サイン ①改札上駅名 ②エレベーター案内サイン ③ホーム案内サイン ④トイレ案内サイン



△①和光市駅改札上駅名（イメージ）



△②エレベーター案内サイン（鶴ヶ島駅）



△③ホーム案内サイン（北越谷駅）（イメージ）



△④トイレ案内サイン（北越谷駅）

### 3 バリアフリー対応

#### ・階段の手すりの二段化

高齢者やお子さまをはじめとした多様な利用者の円滑な利用に対応するため、階段手すりを二段化します。

#### ・スロープ改修

朝霞駅・鶴ヶ島駅のスロープについては、国際パラリンピック委員会（IPC）ガイド及び関係する国内法令などに基づいたガイドラインに則り、スロープの勾配を改修します。

#### 4 地域の特徴を生かした装飾

【東武スカイツリーライン 北越谷駅（埼玉スタジアム2002への観客利用想定駅）】

越谷市の名産の「越谷だるま」をモチーフとしただるま落としのデザインを柱に施すほか、イベントスペースや開運「北越谷大達磨」を設置します。



△「越谷だるま」をモチーフとした「北越谷駅」の演出（イメージ）

【東上線 和光市駅（陸上自衛隊朝霞訓練場への観客利用想定駅）】

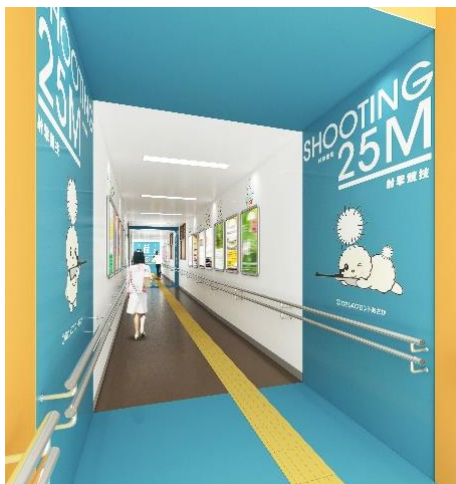
2019年12月12日（木）に開業した「EQUiA PREMIE和光」の雰囲気に合わせて、駅構内もリニューアルします。



△和光市駅 駅構内（イメージ）

【東上線 朝霞駅（陸上自衛隊朝霞訓練場への観客利用想定駅）】

「朝霞市キャラクター ぽぼたん」のグラフィックを駅構内のエレベーター通路に配置するほか、射撃競技の的までの距離を体感できるデザインにします。



△射撃に関する装飾をした「朝霞駅」の演出（イメージ）

【東上線 川越駅（霞ヶ関カンツリー倶楽部への観客利用想定駅）】

“川越に彩りを加える”というテーマで実施している川越プロモーションの一環で、川越をテーマに若手画家 古家野雄紀氏にデザインしていただいたラッピング車両「池袋・川越アートトレイン」（2019年2月より運行開始）のデザインを活用した装飾を施します。



△「池袋・川越アートトレイン」のデザインを活用した「川越駅」の演出（イメージ）

【東上線 鶴ヶ島駅】

地名の由来にもなっている「鶴」を、折り鶴をモチーフに表現し、駅構内の随所に配置します。



△折り鶴をモチーフとした「鶴ヶ島駅」の演出

以 上